

仕分け結果に対する町の方針

事業名	英語指導助手活用事業	第2班
		第6事業

仕分け結果	仕分け人チーム	結果	不要	【主なコメント】 ●根本からやり方を見直す必要がある。幼稚園や保育園からの英語力の導入こそ重要。もっと寒川らしさを。 ●全く0とは言わないが、もう一度初めから考えてみては。 ●町の独自性が見えない。この町だけの問題ではないが、英語、国際化等の要請は、国全体の要請、少なくとも他の教育内容同様に県レベルでのものとするべき。ただし、代替性がある制度ができるまでは保留。 ●公民館講座を小・中学校に振り向ける。 ●指導助手のスキルアップについては、定期的に行うことが大事。是非行ってもらいたい。指導助手用の年間指導計画の作成が必要であり、それと各校の年間計画(外国語活用)とのタイアップをして、実際の指導にあたってもらいたい。
		不要	2	
		民間	0	
		国・県・広域	1	
		寒川町(要改善)	1	
		寒川町(現行どおり)	1	
	町民判定人	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●町独自でやるべきものではなく、国レベルで行うこと。 ●直接雇用のメリットは理解できるが、基本的には学校の授業に指導力を発揮してもらえばよい。そのためには、人選の基準を一定にして雇用すべき。 ●直接雇用との事だが、子どもから大人、老人までの対応ができる人を面接で見極めることができているのかは疑問。 ●寒川町の直接雇用は賃金が高すぎないか。業務委託方式や派遣方式も検討すべきである。 ●子どもたちに英語を親しめる時間が、国の基準より多少多く取れているのは嬉しいこと。しかし、実際には、もっと多くの時間を英語に親しむようにできればと思う。公民館講座は無料とのことだが、これに町の税金を使うのはおかしい。 ●英語(この事業内容)で国際交流できる子どもの教育が本当にできるのか。
		不要	0	
		民間	0	
		国・県・広域	2	
		寒川町(要改善)	3	
		寒川町(現行どおり)	2	

町の方針	寒川町(要改善)
<p>・小学校に外国語活動が導入され、より一層児童に国際的コミュニケーション能力の育成が求められているため、今後も継続してまいります。</p> <p>・事業の目的が達成されたのか評価する必要があるため、児童・生徒にアンケートを実施します。また、この事業により”子どもの国際感覚がどの程度培われたのか”などの効果を図るための検証方法について検討してまいります。</p> <p>・英語指導助手の雇用方法は、幅広く子どもたちの教育活動に関わることができる直接雇用を当面の間採用し、雇用の際には、職員による面接を実施していきます。面接では、人物、指導力、教育への姿勢、英語力に対する評価が必要となるため、担当職員のスキルアップを図るとともに、既採用の英語指導助手による英語力の評価など、面接の内容等を見直すとともに、他の雇用形態の有効性について検証してまいります。</p> <p>・英語指導助手の賃金について、現在一律の給与としていますが、年齢、経験に応じた給与体系の導入について検討してまいります。</p> <p>・学校の長期休業中に、公民館講座を成人向け、幼児向けに実施してきましたが、本事業は、小・中学生を対象としているため、23年度から小・中学生向けの講座を新たに公民館講座として開催します。なお、事業内容については、随時精査し、改善してまいります。</p>	